

ワイヤレスシアターシステム

VICTOR XP-EXT1 (EXOFIELD THEATER)

¥OPEN ▶ 投票 No.233



SPEC <ヘッドホン部> ●型式:密閉ダイナミック型 ●ドライバー口径:40mm ●連続再生時間:約12時間 ●質量:約330g <プロセッサ部> ●入力端子:HDMI×3、光デジタル×1、アナログ×1 ●出力端子:HDMI×1 ●外形寸法:266W×30H×154Dmm ●質量:約530g

ネット動画を 100倍楽しむ!



専用のスマホアプリ「EXOFIELD THEATER」により、一人ひとりの音の伝わり方の特性を測定できるのもポイント。ヘッドホン部に内蔵したマイクで個人特性を測定し、アプリ内のデータベースから最適なデータを抽出・生成することにより、それぞれのユーザーに最適な音場を提供してくれる。

おうちシアター、最前線!

動画配信サービスを、ホームシアターのような立体的なサウンドで楽しみたいなら、ビクターのワイヤレスシアターシステム「XP-EXT1」にご注目!

ヘッドホンでもスピーカーで聴いているかのような音場を楽しめ、おうちでもライブや映画館の気分を味わえる。

文/折原一也 Kazuya Orihara

オンラインライブを臨場感たっぷりに

家で過ごす時間が長くなったいま、自宅でネット動画を楽しんでいる方も多いだろう。音楽ライブや映画といったコンテンツを、本格的なホームシアターのような音声中で楽しめる新機軸のワイヤレスシアターシステムがビクター「XP-EXT1 (EXOFIELD THEATER)」だ。

その最大の特長は、ヘッドホンでありながらスピーカーの音を聴くような音場と定位を再現する、ビクター独自の頭外定位音場処理技術「EXOFIELD (エクソフィールド)」の搭載にある。製品は測定用マイクを内蔵した専用ワイヤレスヘッドホンと、頭外定位音場処理を担うプロセッサユニットで構成されている。セットアップの際にはスマートフォンの専用アプリを利用し、マイクで装着した人の耳の音響特性を計測、ユーザーの耳の聴覚特性に完全にパーソナライズされた、頭外定位音場処理によるサウンドを体験できる仕組みだ。プロセッサはHDMI入力などを備え、レコーダーやゲーム機、メディアストリーミング端末などを接続できる。5.1chや7.1chといっ

た従来のサラウンドに高さの再現を加えたドルビーアトモスやDTS:Xなどの最新イマージングサウンドに最大7.1.4chまで対応し、全方位から音に包み込まれるような音場を楽しめる。

実際にXP-EXT1に「PlayStation 5」を接続し、Netflixで配信中の『星野源 DOME TOUR "POP VIRUS" at TOKYO DOME』を観ると、東京ドームの広い空間に集まった観客の歓声が、あたかも背後からも聴こえるようで、会場の臨場感をリアルに再現する。代表曲『恋』では音像が前方に定位し、一般的なヘッドホンリスニングにありがちな頭のなかで音像が定位するのは異なる、ライブ会場にいるかのような空間表現に驚かされた。

同じくNetflixで配信中の映画『ジェミニマン』では、個々の音の位置が明確に再現された。車を狙撃するシーンでは、前方から金属音が鮮明に存在感を発揮し、虫の音も背後からクリアに聴こえる。列車の走行音も自然な広がりのある低音で再現してくれた。

音楽、映画ともに、生のような臨場感を再現する「XP-EXT1」なら、おうちエンタメをリッチにしてくれること、間違いなしだ。